

成果の説明書

(氏名) 梅田宙	(学部)経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究】</p> <p>①刊行物</p> <p>(1)論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙(2021)「インタンジブルズ間の関係性の考察－BSC の学習と成長の視点に焦点を当てて－」『商学研究』Vol.14, pp.51-67。 ・ Hiroshi Umeda, 2022, "The purpose of using cost information within a healthcare organization", <i>Japanese Management and International Studies</i> ・梅田宙(2022)「バランスト・スコアカード研究の展望－2010年以降の文献を中心に」『高崎経済大学論集』Vol.64, No.3, pp.115-140。 <p>(2)書籍</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙(2021)「医療機関における部門別原価計算の活用」(伊藤和憲編『医療機関におけるマネジメント・システムの活用実践』中央経済社。) <p>(3)その他</p> <p>学会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙 2021年11月13日「病院における原価計算の活用実態：影響システムと情報システムの観点からの考察」日本組織会計学会第4回全国大会統一論題。 <p>②未刊行の原稿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梅田宙(2022)第4章「財務・税務担当にとってのサブスクリプション」谷守正行編著『サブスクリプションの理論と実務』。 <p>【教育】</p> <p>課題出題の回数を増やし、課題のフィードバックを次回の授業で行うことを心掛けた。選択式の課題を提示し、問題を解く過程で受講生の理解度が高まることをめざした。また、レポート課題を課し添削を行い、全受講生にフィードバックした。</p> <p>ゼミは、テキストの輪読、経済紙や新聞を活用した企業のケース分析、卒業論文の指導などを行った。課外活動では、日経ストックリーグに参加した。またオンライン形式でインゼミを実施した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本知的資産経営学会第9回年次大会 準備委員 ・日本知的資産経営学会 総務担当理事 ・日本医療バランスト・スコアカード研究学会 学会賞審査 ・書評「価値共創のための統合報告-情報開示から情報利用へ-」『国際金融』1352号 ・専修大学ラオス簿記プロジェクト 工業簿記上級テキスト作成・動画作成 ・『日商簿記検定 2級模擬試験問題集 2020年度版』実教出版 工業簿記作問・校閲 	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究として、メルコ学術振興財団から得た研究助成、「企業間ネットワーク構築における管理会計情報の貢献：インタンジブルズの利用を中心に」を進めていく。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義：過年度資料をベースとしつつ、内容を更新する。 ・ゼミ：輪読を継続するとともに今年度も他大学とのインゼミでの報告を目指す。 	